



# 携帯電話やパソコンを持っていますか？

～ 総務省統計局「平成21年 全国消費実態調査」より～



表1 主要耐久消費財の1000世帯当たり所有数量、増減率及び普及率 上位5品目

		(二人以上の世帯)		
	品 目	所有数量 (台)	増減率 (%)	普及率 (%)
所有数量が多い 耐久消費財	ルームエアコン	2,478	5.6	88.1
	携帯電話 (PHSを含む)	2,131	16.9	92.7
	整理だんす (作り付けを除く)	1,790	-4.5	81.1
	洋服だんす (作り付けを除く)	1,494	-7.9	82.2
	自動車	1,414	-2.2	85.5
所有数量の 増加率が高い 耐久消費財	薄型テレビ (プラズマ 液晶 有機ELを含む)	865	652.2	61.9
	食器洗い機	271	41.1	26.9
	温水洗浄便座	883	20.5	68.8
	携帯電話 (PHSを含む)	2,131	16.9	92.7
	パソコン	1,157	15.8	75.9
所有数量の 減少率が高い 耐久消費財	カラーテレビ (ブラウン管)	1,326	-38.0	74.9
	太陽熱温水器	63	-31.5	6.2
	ステレオセット又はCD・MDラジオカセット	1,125	-14.3	74.3
	オートバイ・スクーター	177	-12.4	14.8
	じゅうたん (購入価格が5万円以上)	207	-12.3	15.0
普及率が高い 耐久消費財	洗濯機	1,092	0.6	99.5
	電気掃除機	1,375	-3.9	98.8
	冷蔵庫	1,235	-3.1	98.7
	電子レンジ (電子オープンレンジを含む)	1,032	-0.6	97.5
	携帯電話 (PHSを含む)	2,131	16.9	92.7

所有数量：1000世帯当たりの所有数量  
普及率：当該耐久消費財を所有している世帯の割合  
増減率：平成16年から21年までの5年間の所有数量の増減の割合

全国で最も所有数量が多い耐久消費財は、“ルームエアコン(2,478台)”。次に“携帯電話(2,131台)”の順となっており、これらの耐久消費財は1世帯平均2台以上を所有していることが分かります。

次に、所有数量の増加率が高い耐久消費財は、地上デジタル放送への切り替えが影響しているのか、“薄型テレビ”が前回調査(平成16年)と比べ 652.2%と大幅な増加となっており、逆に所有数量の減少率が高い耐久消費財をみると“カラーテレビ”が前回比 -38.0%の減少となっています。

また、普及率が高い耐久消費財は、“洗濯機”(99.5%)、次に“電気掃除機”(98.8%)の順となっています。

近年の傾向としては、“携帯電話”や“パソコン”の所有数量が増加するなど、その普及率の高さが特徴的となっています。【表1】

表2 沖縄県の主な耐久消費財の1000世帯当たりの所有数量等 (二人以上の世帯)

品 目	沖 縄			全 国(参考)	
	所有数量	普及率 (%)	順位 (普及率)	所有数量	普及率 (%)
電子レンジ (電子オープンレンジを含む)	955	92.5	47	1,032	97.5
冷蔵庫	1,101	97.6	47	1,235	98.7
電気掃除機	1,001	91.7	47	1,375	98.8
洗濯機	1,078	99.6	12	1,092	99.5
食器洗い機	150	14.9	45	271	26.9
ルームエアコン	1,857	81.6	39	2,478	88.1
自動車	1,409	87.2	39	1,414	85.5
オートバイ・スクーター	174	15.6	21	177	14.8
携帯電話 (PHSを含む)	1,900	86.5	47	2,131	92.7
薄型テレビ (プラズマ 液晶 有機ELを含む)	497	44.3	47	865	61.9
カラーテレビ (ブラウン管)	906	69.1	44	1,326	74.9
パソコン	664	52.6	47	1,157	75.9

沖縄県の主な耐久消費財の所有数量等をみると、“電子レンジ”や“冷蔵庫”、“電気掃除機”、“洗濯機”といった家電は、普及率が90%を超えています。また、“洗濯機”だけが全国並みの普及率です。

また、全国同様、携帯電話やパソコンの普及率は上がっているものの(前回:携帯 80.0%、パソコン 43.4%)、全国と比べると、まだまだ低い数値となっています。

一方、「暑い夏」「車社会」といったイメージの沖縄県ですが、“ルームエアコン”や“自動車”の普及率は81.6%、87.2%と、どちらも全国39位の普及率とは意外ですね。【表2】

